

FOREIGNERS

石見 真希

## 『FOREIGNERS』 石見真希

### 【作品概要】

突然、バンコクの国際空港の滑走路が閉鎖され、一機も着陸できなくなってしまった。ちょうど飛行中だった東京発バンコク着の飛行機は、これを受けて中国の南東部にある空港に急遽着陸（ダイバート）した。普段は国内便と国際貨物便専用の空港に夜中に降ろされた乗客たちは途方に暮れ、到着ゲートで朗報を待つ以外に何も出来ない。航空会社も空港運営会社も対応に困り、その場しのぎの案内を繰り返すばかり。

乗客の中には、到着ゲートに陣取ることすら出来ずに、通路を居場所にする人たちもいる。ひたすら Wi-Fi を探すビジネスマン、「子供の泣き声がうるさい」と追い出された子連れの夫婦、カメラ片手にうろつくバックパッカー、ひとりぼっちで塞ぎこむ女学生。それぞれ必要に迫られて、声を掛けあう。――日本に電話したいのに、中国の公衆電話は日本人にはまったく馴染みのない電子マネーか硬貨しか使用できないため、バックパッカーが旅行した国のつり銭を集めたジップロックから、数人が必死で中国の硬貨を探し出す。支給されたサンドウィッチのまずさを軽減する方法を伝授しあう。――

連携することで、お互いに持っている情報が自然と補完されていき、今回のダイバートはどうかバンコク市内で発生した反政府デモと関係があるらしいことや、現タイ政府がクーデターによる軍事政権であることが、観光のことしか頭になかった子連れの夫婦やバックパッカーの知るところとなる。

そんな中でただ一人、女学生だけは一貫して消極的で、サンドウィッチすら自発的に取りに行こうとしない。周り人たち（子連れの夫婦、ビジネスマン、バックパッカー）が声をかけてもつれない反応で言葉数が少ないが、彼女が日本に留学しているタイ人学生であることが分かる。見た目から日本人だと思い込んでいた周りの人たちは驚いて、それまでタイについて政治的にデリケートな部分も含めて好きに発言していたことを自覚して、気を揉む。

偶然に、終わりの見える時間を一緒に過ごすことになった相手だからこそ言える本音や、国単位の文化や言葉はもちろん、もっと細かい、それぞれの立場や視点による食い違いや葛藤を、本作を通して見せることが出来ればと思う。

登場人物

一家の母

一家の父

一家の息子

ビジネスマン

バックパッカー

若い女

中国南東部にある空港の到着ゲートから延びる長い通路。

窓のない壁の所々に広東語の注意書きと——イラストから「禁煙」と書かれていることが広東語を解さない者でも分かる——WiFiスポットと記したサインが貼られている。

壁と同じ淡色の床が天井の蛍光灯を反射しているお蔭で、室内の明るさが保たれている。

この通路には、ムービングウォークも時計もない。登場人物たちは到着ゲートで確認した時刻（午前一時前後）と各々の体内時計で時間を推測している。

（下手）到着ゲート

（上手）営業時間外で閉まっている売店や、その他この空港で働くものにとって重要な設備がある。

※ 英語の台詞で翻訳が必要なものについては、本文の後に英語を記載する。

アナウンス 皆様、ご搭乗お疲れ様でした。また、お待たせしております。誠に申し訳ございません。只今、目的地バンコクのスタッフと連携を取り、状況確認を行っております。

ます。恐れ入りますが、今しばらくお待ちください。

Ladies and gentlemen, we are currently checking the current status in Bangkok in cooperation with the local staff. Please wait for further announcement. Thank you very much for your cooperation.

アナウンスの途中で、下手から型崩れした「東京ばな奈」の袋を下げた中年男が登場。俯いて、しきりに目元を拭いながら上手の方へとぼとぼ歩いていく。

中年男が舞台の中央手前くらいまで進んだところで、下手から「東京デイズニールランド」の大袋を下げた中年女が登場し、中年男に駆け寄る。

中年男は立ち止まって振り返り、中年女の肩を借りて少し泣く。

鼻をすすする音。

中年女 中年男の背中を優しくくさすり、何か囁く。声は小さく、二人にしか聞こえない。

中年男 頷く。二人は下手の方へ並んで歩き出し、退場する。

CAが二人、小型のキャリーケースを引きながら下手から登場し、中年の男女とすれ違う。

CA1 ああ、疲れた。てか、機長、しつかりしろよ。

CA2 どうせ後回しにされたんだろうね。

CA1 イレギュラーの対応、ぜんぜん出来ないもんね、あの人。



CA1・2 会話をしながら上手へ退場。

上手からビジネスマンが登場。スマホの画面を睨みつけて、左右にジグザグと体の向きを変えながら下手側に向かってゆっくりと歩いていく。

濃紺のスーツを着た航空会社従業員が、下手から上手に小走りで向かう。

ビジネスマン 航空会社従業員が前から来るのに気が付き、歩み寄る。

ビジネスマン Excuse me, 1

航空会社従業員 立ち止まる。

3

ビジネスマン Could you spare a minute for me? I need a help with wi-fi set up. 2

航従 Someone will come help you in a moment, sir. 3

ビジネスマン I already asked another personnel and she said the same thing. 4

航従 I am sorry. Please let us help elderlies and children first. 5

ビジネスマン Who is it then? 6

航従 Pardon? 7

ビジネスマン Who is coming to help me? 8

航従 ...We are doing our best. Excuse me. 9

航空会社従業員 上手に退場。

清掃員がバケツとモップを持って上手から登場。  
ビジネスマン 清掃員をすぐに見付けて歩み寄る。

ビジネスマン Excuse me, do you know 10

清掃員 首を横に振って、苦笑いしながら通り過ぎる。下手に退場。

清掃員と入れ違いで若い女が下手より登場。壁沿いの床にリュックサックを下ろして座る。膝を抱えて顔を伏せる。

ビジネスマン 若い女をチラッと見てから、スマホを耳にあてる。

ビジネスマン あ、里歩か。ごめん……お母さん、寝てるよな……いや、ね、て、た？……うん。飛行機が……うん。ひ、こう、き、が、困ったことになって……あ、あれ、聞こえる？

バックパッカー 下手に向かってカメラを構えながら、後ずさりするようにして下手より登場。中型犬くらいならすっぽりと収まりそうな大きなバックパックを背負っている。

一度シャッターを切ってから振り返り、上手の方へ歩いていく。途中、眠っているように見える若い女の前で立ち止まる。

バックパッカー あの、

若い女 (無反応)

バックパッカー あのさ、

若い女 (無反応)

バックパッカー 寝るなら、荷物は抱えた方がいいよ。

若い女 (顔を上げる)

バックパッカー (若い女のリュックサックを指さして) 危ないから、日本と同じ感覚でいると。

若い女 無言でリュックサックを壁側へやり、背もたれにして座りなおす。

バックパッカー 余計なお世話かもしれないけど。

バックパッカー いつでもカメラを構えられるように片手に持ったまま、上手に退場。

ビジネススマン スマホを耳にあて、もう一度電話をかける。

ビジネススマン (徐々に声が大きくなっていく) もしもし？  
……ああ、もう参ったよ……いや、今は中国……違う。バンコクじゃなくて、ちゅ、う、ご、く。チャイナ……わからないい……わ、か、ら、な、い。そう、バンコク行きだよ。ダイバー……いや、ダイバー。飛行機が着陸できないの！……え？ 聞こえてる？……ううん、ひこうきが……いや、事故ではない……じ、こ、で、は、な、い……え？ 知らないよ……うん、それで……あの、朝になったら……え？ いつだか知らないよ……いや、使いものにならない、ダメダメ……もう試した。そんなの今はどうでもいいんだよ……あ……。

下手から三人家族が登場。上手に向かって歩いていく。一家の父は大きめのカバンを肩から下げ、ときどき振り返っては母子の様子を窺っている。

一家の母は子供の手を引いて続くが、息子が五歳の体には釣り合わない大きな泣き声をあげながら、母親に体重を預けるようにしているため、母子ともに足がもつれてスムーズに進めない。

ビジネスマン ため息をついて電話を仕舞い、一家の様子を横目に見る。

一家の母 あんな言い方ってある？  
一家の父 完全に八つ当たりだな。  
一家の母 ほんと、助け合いの精神とかないわけ？  
一家の父 …俺、抱っこしようか？  
一家の母 ダメダメ。甘いなあ、もう。  
一家の父 でも、  
一家の母 もうすぐ年長さんだから。（息子に）ほら、いつまでも泣いてると、象さん待っててくれないよ。  
一家の息子 象さん、いららない。  
一家の母 なに、急に？  
一家の息子 おうち帰りたい。  
一家の母 もう、余計なこと言うから。  
一家の父 俺のせいだよ。  
一家の母 え、違うの？  
一家の父 そっちがしつこいからだろう。  
一家の母 でも、じゃあ、どうすんの？ キャンセルするの？  
一家の父 俺に言われても。予定組んだの俺じゃないし。  
一家の母 それは晴哉の為でしょ。いつも我慢させてんのに。

一家の息子 ついに床に座りこむ。相変わらず泣いているが、もう涙は出ておらず、声が枯れて元気がなくなってきたている。

一家の息子 いやー。  
一家の母 眠いのよ、この子。  
一家の父 晴哉、抱っこか？  
一家の母 ほら、はるちゃん、立って。  
一家の息子 いいやあ。かえる。  
一家の母 帰るって、帰れないの。  
一家の息子 いや、はるちゃん、かえる、かえる。  
一家の母 ああ、もう。いい加減にしなさい！  
一家の息子 いや！  
一家の父 …まだ早かったね、海外旅行は。  
一家の母 なに、今更。  
一家の父 ごめん、本音でた。

一家の母 なに、本音って。  
一家の父 いや、だって、せっかくの休みなのに。  
一家の母 ていうか、「せっかくの休みだからリゾートでゆっくりが良い」って言ったの誰だっけ。  
一家の父 いや、でも国内で良かったよ。あるでしょ、沖縄とか。  
一家の母 何言ってるの、沖縄の方が高いんだから。あ、知らないか、予約も私がしたから。  
一家の父 でも、今あせって行くことはなかった。  
一家の母 じゃあ、いつならいいの？ 次に改築するとき？  
一家の父 まさか。もうリノベなんてしないよ。わざわざフランスから作業台もオーブンも取り寄せたのに。

同じ航空会社従業員が上手より登場。通りかかるのをビジネスマンが呼びとめる。

ビジネスマン Excuse me again, 11

航従 Sorry. I am in the middle of 12

ビジネスマン No, not that. I guess they need your help.

That child has been crying. 13

航空会社従業員 一家を直視する。

航従 There is not much we can do, though. 14

ビジネスマン Please. No one likes hearing a child cry.

15

航従 …0.K.

航空会社従業員、一家の方に歩いていく。

ビジネスマン 監視するような目つきで、航従が一家に話かけるのを見守る。

航従 Excuse me.

一家の父と母、子供に気を取られていて、すぐに気付かない。

航従 Excuse me.

一家の母 ちよっと、何か言ってるよ。

一家の父 ええ？ 英語は無理だよ。

航従 I see your son needs to rest. He must be tired.

16

一家の母 え、私？ …あ、えっと、えっと、パードン？

航従 He is crying hard. 17

一家の母 …。

航従 CRY. Crying. 18

一家の母 クライ？ ああ、ソーリー。スリーピー。スリーピーボーイ。

一家の父 (思わず小さく笑う)

航従 Shall I prepare a bed for him? There is a napping

room. He can rest there, if you like. 19

一家の母 えっと…うん…イエス。

一家の父 なんて言ってたの？

一家の母 いや、ちよっぱり。

航従 O.K. Please come with me. 20

航空会社従業員 上手に一步進むが一家の様子に気付いて振り返る。

一家の父 一緒に来いって言ってるんじゃない？

一家の母 え、なんで？

一家の父 さあ。

ビジネスマン 航空会社従業員に歩み寄る。

ビジネスマン Is the napping room open for anyone? 2  
1

航従 Unfortunately, it's already full with people  
feeling unwell. He got a spare bed. 22

ビジネスマン My goodness, Not just business lounge!  
Nothing works. 23

航従 This situation is difficult for anyone. Please  
understand. 24

一家の母 (小声で) なんか、揉めてるみたいだけど。

一家の父 (小声で) 止めとく？

一家の母 (小声で) うん。また怒られても嫌だし。

一家の父 (小声で) 何て言う？

ビジネスマン (初めて一家に向かって) いや、あの、この  
人が言うには、休憩所があるから、そこで子供を寝かせた  
らどうですかって。ほら、さっきからずっと泣いているから。

一家の母 あ、ああ。

一家の父 ああ。

一家の父と母 顔を見合わせる。

一家の父 あの、近くですか？ その休憩所？

ビジネスマン Is the room near here? 25

航従 Just around the corner. This airport isn't that  
big. 26

ビジネスマン すぐそこだそうです。この空港はそんなに広  
くないからって。

一家の母 そうさせてもらおう？

一家の父（子供を抱き上げながら）うん。（ビジネスマンに向かつて）あの、ありがとうございます。

ビジネスマン ああ、はい。

一家の母 ビジネスマンに会釈してから、一家の父についていく。

一家の息子は父親に抱き上げられた途端、泣き止む。父親の肩越しにビジネスマンの顔をまじまじと見ている。

一家の母 助かったね。

一家の父 うん、（子供の背中を撫でながら）良かったな。

一家の母 パパもフランス語なら、あれくらい話せる？

一家の父 うん、そりやもちろん。

ビジネスマンは下手側と上手側を行ったり来たりしはじめる。スマホの画面を睨みつつ、辺りを見回したり、若い女の方をチラチラ見たりしている。動き回るところで時間が早く過ぎると信じているかのよう。

バックパッカーがカメラを手に上手から登場。通路中央まで進んで立ち止まり、下手に向かつてカメラを構え、ファインダーを覗く。

航空会社従業員 上手より登場。バックパッカーを見つけて歩み寄る。

ビジネスマン 今や散歩するような足取りで下手側と上手側を往復している。航従に気付き、目で追う。



航従 Excuse me. Were you taking pictures there? (上手  
を指さす) 27

バックパッカー え? ああ、No.

航従 I think I saw you taking pictures. 28

バックパッカー ああ…maybe. 29

航従 Please don, t. 30

バックパッカー How come? 31

航従 Because it is not allowed. 32

バックパッカー (ポケットからレンズキャップを出してレ  
ンズに取り付けながら) Really?

航従 Thank you for understanding. 33

航従 上手に退場。

若い女は同じ姿勢のままにいる。

バックパッカーは壁の方へ行くと背中の荷物を下  
ろし、胡坐をかいて座りこむ。

もぞもぞと尻を動かして心地の良い体勢を探って  
から、バックパックの外ポケットに差し込まれたク  
ロスワードパズルの冊子を取り出し、間にはさまっ  
ていた鉛筆でパズルを解きはじめる。

足音と、鉛筆が滑るかすかな音。

ビジネスマンが近くを通りかかる時、バックパッカ  
ーは冊子から少し顔を上げて目で追う。ビジネスマ  
ンが通り過ぎてしまうと、また冊子に視線を落とす。  
これが二度ほど繰り返される。

その間、バックパッカーが時々独り言を言う。

バックパッカー（首を捻り、近くを通りかかったビジネス  
マンに視線を送りながらボソボソ呟く）夏目漱石、ともに  
働けばマルマルが立つ…。ともに働けばマルマルが立つ…。

バックパッカー（再び冊子に視線を落とし、ボソボソ呟く）  
こっちは火事場の馬鹿力だから、カカ。カのつく二文字、  
顔、髪、傘…うーん。

誰のものかわからない腹の音が鳴る。若い女が一瞬  
だけ顔を上げ、眩しそうにしてまた顔を下ろす。

ビジネスマンが再びバックパッカーの近くを通り  
かかる。

バックパッカー あのと（ビジネスマン、すぐに気付かない）  
…あの、すみません。

ビジネスマン あ、はい？  
バックパッカー あの、クロスワードやりますか？ このペー  
ジ、まだやってないんで。（ページを千切ろうと手を掛け  
る）

ビジネスマン え？ 何です？  
バックパッカー クロスワード（冊子をビジネスマンに見せ  
る）暇つぶしに最適。

ビジネスマン（「いらないよ、そんなもの」と言う代わり  
に首を横に振る）  
バックパッカー あの、じゃあ、座ったらどうです？ 絶対  
まだまだ掛かるでしょ。

ビジネスマン いや、W i F iを探してて。この辺は一瞬入  
ることがあるから。

バックパッカー ああ、諦めた方がいいですよ。こういうとこで使えた試しはないですから。

ビジネスマン でも、サインも出てますけど？（壁の張り紙を指す）

バックパッカー そんなの壁の模様みたいなもんですよ。

ビジネスマン でも仮にも空港なんだから、

バックパッカー いやいや、一步外に出たら、たぶん相当な田舎ですよ、ここ。たいした灯りも無かったじゃないですか。

ビジネスマン ああ、着陸のとき？

バックパッカー あ、でも、ここなんて、僕が行った中ではまだ新しくて立派な方ですけど。

ビジネスマン まあ、中国だからね。

バックパッカー そうですよ、中国です。

ビジネスマン あ、そう言えば、さっき写真も禁止されたでしょう。

バックパッカー ああ、僕ですか？ あれはいつも通りですよ。

よ。日本でも職質とかされるんで。

ビジネスマン でも、不自然じゃない？ 旅行者なんだから、写真くらい普通でしょう。

バックパッカー まあ、空港中だとたまにうるさく言われますよ。

ビジネスマン でも、思うんですけど：W i F i が使えないのも、わざと使えないようにしてるって可能性、ないか？

バックパッカー ええ？ うそお？

ビジネスマン うん。十分あり得ると思うけどな。

バックパッカー ええ、でも、そんな必要ありますか？

ビジネスマン さあ。

ビジネスマン バックパッカーに背を向け、再び上手と下手の往復を始める。

バックパッカー あの、  
ビジネスマン はい？

バックパッカー そんなことを考えてるのに、まだ探すんすか？ Wi Fi。

ビジネスマン まあ、あるに越したことないから。（また歩き出しかけて振り返り）あ、そうだ。それ、「ともに働けば」じゃないよ、その問題。

バックパッカー え？ ああ、（冊子を見せて）クロスワードっすか？

ビジネスマン チだよ、チ。智に働けば角が立つ。漱石の草枕ですよ。

バックパッカー ああ！ カドっすか。  
ビジネスマン そう、角。

バックパッカー あざっす。（冊子に書き込む）智に働けばカドが立つ。

ビジネスマン 智に働けば角が立つ。情に棹さば流される。意地を通せば窮屈だ。とかくに人の世は住みにくい。  
バックパッカー え、何すか、覚えてるんすか？

ビジネスマン いや、全部じゃないけど、学生時代、暗唱したからね。

バックパッカー へえ。

一家の母、上手より登場。ビジネスマンを見つけて、歩み寄る。

一家の母 あの、すみません。

ビジネスマン はい？ ああ、さっきの。

一家の母 あ、ありがとうございます。

ビジネスマン いいえ。

一家の母 あの、

ビジネスマン 向こうに居たらいいじゃないですか。せつかなのに。

一家の母 いや、あつちはあつちで人が多くて。

ビジネスマン でも、ベッドあるんでしょう。

一家の母 それが、ベッドって言っても、二人座ったら壊れそうな簡易ベッドで。

ビジネスマン ああ。

一家の母 あの、厚かましいことばかりで申し訳ないんですけど

ビジネスマン いえいえ、お好きにどうぞ。

一家の母 いや、あの、私、旅行会社に電話したいんですけど、

ビジネスマン ああ、電話ですか。電話は諦めた方がいいです。回線はまともに使えないし、W i F iもダメだし。

一家の母 え、でも、さつき：

ビジネスマン ああ、ダメダメ。繋がってもプツプツ切れるから。

一家の母 ああ。

ビジネスマン 万事休す。どうしようもないですね。

一家の母 あ、じゃあ、あつちの電話は、もう試されました？  
ビジネスマン え？ どっちの電話？

一家の母 シルバーの、公衆電話ふうの、インターナショナル何と書いて書いてるやつです。（上手を指して）向こうの売店の横に何台かあって。

ビジネスマン ほんとに！（上手に少し歩きはじめる）

一家の母 でも、使えるかどうか分からなくて、

ビジネスマン (立ち止まって) ああ、なんだ、壊れてるのか。

一家の母 いや、それは大丈夫です。誰か使ってみましたから。ビジネスマン (再び歩き出そうとしながら) じゃあ、

一家の母 でも、電子マネーがいるんです。見たことない種類のやつ。

ビジネスマン ああ、そんなの、アプリをダウンロードすれば…あ、ダメだ。

一家の母 あ、でも、コインは使えるみたいなんですよ。投入口あったんで。

ビジネスマン コインかあ…。

一家の母 ないですよ、やっぱり。

ビジネスマン あるわけないでしょう。タイに行くつもりだったのに。

一家の母 …ですよ。

ビジネスマン (ため息)

一家の母 あとは…人に聞いて回るくらい、ですかね？

ビジネスマン 聞いて回るって、(下手を指して) 向こうで？

一家の母 はい。

ビジネスマン それは止めた方がいい。そんなことしたら物乞いと間違われますよ。

一家の母 物乞いって…そんな言い方。(ムツとした表情で上手に向かって歩き出す)

ビジネスマン いや、だってそうでしょう。

バックパッカー あの、すいません。多分、僕持ってるんですけど。

ビジネスマン え、何？

バックパッカー 多分ありますけど、中国のコイン。

一家の母 (振り返って) ええ、ほんとに！

バックパッカー ちょっと待ってもらえます？

一家の母 (バックパッカーに駆け寄り) はい。いいんですか？

ビジネスマン え、あるんですか？

バックパッカーはバックパックの口を開いて手を入れ、中からつぎつぎと物を出していく。丸まったTシャツ、オカリナ、未開封の手巻きタバコのバック、ドライマンゴーの包み、正露丸の瓶、等々。途中でドライマンゴーの封が開いていることに気付いて、ひとつつまみだして口に放り込み、二つ目を取ろうとして中身が空であることを知る。

一家の母とビジネスマン バックパッカーをじっと見守る。

若い女、膝に顎をのせて、それとなく横目に様子を窺っている。

バックパッカー あ、ありました。

一家の母 ありがとうございます。

バックパッカー ジップロックの袋を顔の高さに上げ、ぶらぶらさせる。ジップロックがはち切れそうなほどコインが詰まっている。

一家の母 え？

バックパッカー この中つす。

一家の母 …え、それ、肩、凝りませんか？

バックパッカー (ジップロックの封を開けて、中に手を入れながら) いや、これが結構、いざという時に使えるんですよ。

バックパッカー 片手でコインを何枚かすくい上げ、手の中で確認しはじめる。

ビジネスマン それ、一回ぜんぶ出そうか。  
バックパッカー あ、そうっすね。

バックパッカー 床にジップロックの中のコインを広げる。

コインのジャラジャラという音。

ビジネスマン 一度しゃがみ込み、パンツの膝が出るの気にして三角座りになる。

一家の母もコインの山の前に座りこむ。

三人とも、コインを探しはじめる。

再び、誰のものかわからない腹の音が鳴る。四人とも音に少し反応するが、気付かなかった振りをする。

一家の母 これって全部、行った国ですか？

バックパッカー そうっす。

一家の母 へえ、こんなに。お仕事か何かで？

バックパッカー いや、単純に海外が好きで。写真撮るんすよ。

一家の母 ああ、それでカメラ。

バックパッカー はい。

ビジネスマン あの、それはそうと、ちゃんと見分けつきますか？ 中国のコイン。

一家の母 それが、見たことなくて。

バックパッカー 僕はもの見たらわかるんで、まあ、とりあえず、漢字が書いてたらキープすればいいんじゃないっすか？



一家の母 ああ、そうですね。

ビジネスマン あと、そんなに枚数ありますか？ 国際電話ですよ？

バックパッカー ああ、中国はチップがないんで、コインが貯まりがちなんで、あ、でも：長電話しないっすよね？

ビジネスマン うん、ちよつと言づけるだけだから。

一家の母 あ。

バックパッカー あ、もう見つけました？

一家の母 いや、タイのがあって、

バックパッカー ああ、この間も行ったから、

ビジネスマン いや、今探してるのは中国ので、

一家の母 あ、そうじゃなくて、予習のつもりで調べてたら、これかと思つて。

ビジネスマン ああ。

バックパッカー バーツは慣れるまで難しいっすよ。どのコインも寺と王様、寺と王様、寺と王様、そればっかで。

一家の母 そうみたいです。街中にも王様の写真がいっぱいあるつて、そういうのも楽しみだっただけ。

バックパッカー あ、行くのは、今回が初めてっすか？

一家の母 はい。最近はあるまり旅行できてなくて。

バックパッカー 結構びっくりしますよ、ほんとにビルの壁面とかにドーンとプリントされてて。

一家の母 (コインを見て) この人がですか？

ビジネスマン いや、これはラーマ9世。前の王様で、今の人のお父さん。

バックパッカー この人が王様やってる間は、いろいろ上手くいつてたんっすよね、タイ人の友達が言っていました。

ビジネスマン そう、だから亡くなったときは、ワット・アールの前に弔う人が何万人も押し寄せてて：あんな光景は初めて見たね。

一家の母 お二人とも、詳しいんですね。

ビジネスマン まあ、私は住んでましたから。

一家の母 ああ、そうなんですか。

バックパッカー バンコクっすか？

ビジネスマン そう。

バックパッカー へえ、いいつすねえ。

ビジネスマン いや、別にいいことはなくて、仕事だから。

いわゆる駐在員ですよ。

一家の母 長くいらしたんですか？

ビジネスマン 三年です。でもその間にクーデターがあった

り、王様が逝去したり、目まぐるしくてね。

一家の母 クーデター？

ビジネスマン ええ。今の軍事政権になった、

一家の母 え？ 軍事政権？

ビジネスマン あれ、知らない？

一家の母 ええ？

バックパッカー へー、そうなんすね。

ビジネスマン 日本でも報道されてましたけどね。うちは、

それもあつて女房が娘連れて帰国して、東京から動かなくなつて、

一家の母 ええ？ ていうか、タイってそんな国なんです

か？ なんか危なそう。

バックパッカー うん、イメージないつすよね。なんせ微笑みの国だし。

ビジネスマン 何度もクーデター起こってますけどね。

一家の母 え、じゃあ、なんで人気なんだろう？ ツアーと

か、いっぱい出てますよね。

ビジネスマン まあ、治安はいいからね、東南アジアの中でも。

一家の母 え？ 軍事政権と治安って両立するんですか？

ビジネスマン まあ、するんでしよう。だって、危ないって意味では、一時は東京だって、どうやって秩序を保ってるのか、世界から不思議がられてたわけだから。

一家の母 え、でも、それは昔のことですよね？

ビジネスマン いや、震災の後の話ですよ。

一家の母 ああ…。

バックパッカー ていうか、治安は行くところにもよりますよ。

どこ行くんですか？

一家の母 パタヤです。

バックパッカー ああ、それなら全然大丈夫ですよ。

ビジネスマン うん、日本人が多いから、割と言葉も通じるし。

一家の母 まあ、それが決め手でしたから。

ビジネスマン でも、正直言って、リゾートなら他にいいところがあったかもしれないね。もっと海が綺麗で値段も安いところ。

一家の母 いいんです、便利だったら、それで。

バックパッカー ま、とりあえず探しますか、コイン。

一家の母 そうしましょう。

三人、山から数枚取っては、いらないものを横に除けていく。ビジネスマンはしきりに眼鏡をずらして、ピントを調整しながら見る。

バックパッカー あ。

一家の母 ありました？

バックパッカー いや、よく見たら違いました。

ビジネスマン 台湾とか？

バックパッカー イグザクトリー。

少しの間

ビジネスマン あ、あつた。中華人民共和国。（コインを一家の母とバックパッカーに見せる）

一家の母 え、それ？ なんか百円玉みたいですけど。

ビジネスマン えーと（眼鏡を調整しながらコインをまじまじと見て）……一元。

バックパッカー ああ、それは確か、一番高いコインっすね。

一家の母 日本円で言うのと、どれくらいですか？

バックパッカー えーと、どうだったかな。北京の屋台では饅頭が一元で買えたんで、二十円くらいじゃないっすか。うまい棒くらいの感覚すね。

ビジネスマン 二十円か。

少しの間

バックパッカー あ！ これ、こんなところに。

ビジネスマン いくらです？

バックパッカー 見てください。これ、僕のお気に入りっす。

バックパッカーが手の中のコインを二人に見せる。

一家の母はのぞき込むが、ビジネスマンはほんの一瞬间視線を送っただけで、探しつづける。

一家の母 へえ、なんかオシャレですね。

バックパッカー 十フランっすね、昔のフランスの。

一家の母 ええ、まるで新品じゃないですか。

バックパッカー 磨いたんすよ。元は釣り銭で貰って。多分、間違えたんすね。

一家の母 ああ、今はユーロですもんね。

バックパッカー これ、結構レアっすよ。こういうの高く買う人いるんじゃないかな。

一家の母 ええ、じゃあ、うちも探したら一枚くらいあるかも。

バックパッカー 旅行の残りっすか？

一家の母 いや、夫がパリに住んでた時の荷物が、まだ段ボールに残ってる。

バックパッカー へえ、パリって、留学っすか？

一家の母 いや、修行です、パンの。うち、フレンチスタイルのパン屋なんですよ。

バックパッカー え、旦那さん、パン職人なんすか。

一家の母 そう。ちなみに私も。

バックパッカー ええ、かけえ。

一家の母 でも、パリで修行したのは夫だけですけど。

バックパッカー パンかあ。僕、クロワッサン大好きなんすよ、バターたっぷりのやつ。

一家の母 あ、じゃあ、うちのも好きだと思う。うちのは、グラスフェッドのバター使ってる、しっとりしてるのに重くなくて、

バックパッカー あ、外はサクサクなタイプすか？

一家の母 そう、外はサクサク、中はしっとり。凄い評判良くて、うちの商品は自信を持ってお勧めできます。

若い女、顔を上げて一家の母とバックパッカーの方をそっと見る。暫くの間、顎を膝に載せて、それとなく二人の方を見ている。

バックパッカー ああ：ダメだ、考えたら腹減ってきた。

一家の母 (笑って) さっき、お腹鳴ってませんでした？

バックパッカー 俺じゃないっすよ。

一家の母 まあ、でも、食べてから結構時間経ったしね。

バックパッカー てか、思うんすけど、機内食って、なんであんなに腹持ち悪いんすかね？

一家の母 まあ、確かに。

バックパッカー あーあ、売店もぜんぶ閉まってるし、苦行っすよ。

一家の母 ていうか、「まもなく」とか「今しばらく」とか言って、結局いつまで待たせるんだろうね。

バックパッカー てか、ぶっちゃけ放置されてませんか？ 僕ら。

一家の母 いや、もう三時間はこうしてるよね。

バックパッカー こんな調子じゃ、ここで暴動が起きるですよ。

一家の母 それは、退屈で？

バックパッカー いや、腹の減りすぎで。みんなカウンターに押し寄せて「飯食わせ！」みたいな。

一家の母 ああ、米騒動みたいな？

バックパッカー ああ、それぞれ、米騒動。ははは、懐かし。

一家の母 でも、そんな事ってあり得ます？

バックパッカー や、そりやそうっすよ。だって飯は原動力っすよ。そしたら僕、写真撮るんで。タイトルは「令和の

米騒動」。

一家の母 ほんとに？

バックパッカー え？ タイトルっすか？

一家の母 いや、ほんとに起こりそう？ 暴動？

バックパッカー や、冗談っすよ。客の半分が日本人でしょう。年寄りも多いし、そんな元気ないっすよ。

一家の母 あ、冗談か。

ビジネスマン あの、…あの（一角を指しながら）この辺を重点的に探してください。集中してますから。

バックパッカー え、ああ。

一家の母 ああ、ここですね。

ビジネスマン こうやって、何枚も重なってるんですよ。

バックパッカー お、ほんとだ。中華人民共和国、一元。(コ

インを手前に除ける)

一家の母 ああ、これは：五かく、かな？

バックパッカー そうつす。

ビジネスマン じゃあ、これで五元と二十角。

一家の母 あ、もうそんなに貯まりましたか。

バックパッカー 確か、十角は一元です。

ビジネスマン ということは、七元。

バックパッカー 僕のを足して九元。まだいりますね。

三人 コインを見つけては、手元に除けていく。

一家の母 (呟く) なんか、これ、潮干狩りみたい。

ビジネスマン え？ ああ：わからないこともないな。大潮

のときはこんな感じだから。

バックパッカー おおしお？ あ、また一元。

ビジネスマン アサリがよく採れる時期のこと。

バックパッカー え、潮干狩りってアサリ採るんすか？

一家の母 え、やったことないの？ あ、一角。

バックパッカー いや、ないつす。てか、今、いくらつすか？

ビジネスマン 二元と三角。

一家の母 私は三元。

バックパッカー まだ欲しいつすね。

一家の母 でも、多分、子供の頃に一回くらいはありますよ、

忘れてるだけで。

バックパッカー え、何すか？

一家の母 いや、潮干狩り。

バックパッカー ああ。

ビジネスマン 子供は好きだからね。

バックパッカー そうなんすか？ アサリ採るのが？

ビジネスマン うん。見つけると得意になって喜ぶ。

一家の母 小さいお子さん、いらっしやるんですか？

ビジネスマン いやいや、何年も前の話で、もう成人してます。

一家の母 ああ。

ビジネスマン 合計出しますか。

一家の母とバックパッカー 手元を集めたコインを両手ですくい上げて、ビジネスマンに渡す。

ビジネスマンがコインを数える間、バックパッカーは横から声を出して「一元、五角」などと数える。

下手から欧米人の女※がキョロキョロしながら登場。隅に座っている若い女に話しかける。下の会話に一家の母だけが気付き、見ている。

※（英語圏の白人種。アメリカ人であることは英語の発音・言葉選びから判明する）

米国人 Excuse me, do you know if there is a bathroom near here? c 4

若い女 （小さな声で下手を指して） I think the closest one is that way. c 5

米国人 Thank you.

若い女 領ぐ。

ビジネスマン 全部で二十三元三角。



バックパッカー（コインの山を漁りながら）多分、もうこれ以上無さそうつす。

一家の母（バックパッカーに向かって）北京の饅頭二十三個分ですよね？

バックパッカー ああ、饅頭か。あの饅頭でいいから食いたいな。

ビジネスマン（一家の母の前にコインを置いて）これ、半分渡しておきますね。

一家の母 あ、ありがとうございます。

ビジネスマンはすぐさま立ち上がるが、一家の母は散らかったコインを片手集めて、もう片方の手でジップロックの袋の口を押えて詰めはじめる。

バックパッカー あ、いいつすよ。僕やりますから。

一家の母 そんな、やりますよ。

バックパッカー（ビジネスマンを一瞥してから）いや、でも早く電話した方が、

一家の母 子供にも自分で片づけなさいって言うてるんで。

あの、私、袋持ってますから、入れていってください。

バックパッカー ああ、はい。

ビジネスマン 立ったまま様子を見ている。

バックパッカー コインを両手で集め、一家の母が手で口を開いているジップロックの袋に入れていく。床のコインが片付く。

バックパッカー やっぱ一緒にやると早いっすね。  
一家の母 ね。

ビジネスマン それじゃ、試しますか。  
一家の母 ありがとうございます。 (立ち上がる)  
バックパッカー ああ、いえいえ、お易い御用です。  
ビジネスマン (ジャケットの内ポケットから財布を取り出しながら) あの、これ、日本円ですけど。 (千円札を座ったままのバックパッカーに差し出す)

バックパッカー え、いや、そんなのいいですよ。

ビジネスマン お金はお金だから。

バックパッカー でも、千円はどう考えても貰いすぎですよ。

ビジネスマン ああ、じゃあ、

ビジネスマン カバンから小銭入れを取り出して、  
小銭をよりはじめる。

一家の母 あの、ごめんなさい。私、日本円の入った財布、  
向こうにて置いてきちゃって。

バックパッカー ああ、いいです、いいです。

一家の母 後で持ってきます、必ず。

バックパッカー いや、お気になさらず。

ビジネスマン 五百円玉を見つけ出し、バックパッ  
カーに差し出す。

ビジネスマン 今、これしかなくて。

バックパッカー いや、いいです、いいです。

ビジネスマン 私が気持ち悪いから、受けとってもらわない  
と。

バックパッカー ああ、じゃあ。

一家の母 あの、暫くここにいますか？

バックパッカー ああ、はい。でもお金はほんと、いいっすよ。

一家の母 いえ、持ってきます。

ビジネスマンと一家の母、上手に歩き出す。

ビジネスマン こっちですね？

一家の母 そうです。

ビジネスマン あ、そうそう、ここと日本の時差は一時間しかないですよ。

一家の母 え？ 時差ですか？

ビジネスマン いや、今の時間、出ないですよ、旅行会社。

一家の母 ああ、二十四時間、年中無休の番号があるんですよ。

ビジネスマン ああ。

ビジネスマンと一家の母、話しながら上手から退場。

バックパッカー ジップロックをバックパックに仕舞い、再びクロスワードパズルの冊子を出し、解きはじめる。

少し考えては書き込み、二、三問は順調に解くが、次の問題で手が止まる。頭を掻いたり天井を眺めたりしながら考えている。

バックパッカー (ボソボソ呟く) うーん、青いのはケツだけど、黄色って何？

バックパッカー 物思いにふける。その間、視線は若い女の方に向いている。

若い女 視線に気付き、訝しげにバックパッカーを見る。二人、目が合う。

バックパッカー ああ、すいません。この問題、難しくて。バックパッカー (再び冊子に視線を落とし、ボンボン咳く) 黄色いもの、黄色いもの、四文字の黄色いもの…。

バックパッカー (若い女に向かって) ね、四文字の黄色いものって何か知らない？ ほにやららが黄色いって、多分、ことわざか何かなんだけど。

若い女 視線をバックパッカーに向け、少し考えてから首を捻る。

バックパッカー やっぱ、わからんか。…四文字ってことは

玉子も違うし…あ、パプリカ？

若い女 月曜？

バックパッカー 月曜？

若い女 (頷く)

バックパッカー え？ 月曜って曜日の月曜？

若い女 (頷く)

バックパッカー え、月曜が黄色ってどういうこと？

上手から一家の父が登場。バックパッカーを見つけて、近寄る。

一家の父 (屈んで) あ、あの、すいません。

バックパッカー はい？

一家の父 あの、うちの妻がお金をお借りしたって、

バックパッカー ああ、僕つす。

一家の父 すいません、ありがとうございます。えっと、これで足りみますか？

一家の父、床に膝をついて五百円をバックパッカーに渡す。バックパッカー 受け取る。

バックパッカー いや、多いつすよ、むしろ。

一家の父 でも、もうそれでお願いします。

バックパッカー なんか、すいません。

一家の父 え、いや、こちらこそ。

バックパッカー 出来ました？ 電話。

一家の父 ああ、それが、掛かるのは掛かったんですけど、繋がるまで待たされて。

バックパッカー ええ？ 電話でも待たされるんすか。

一家の父 はい。結局、保留の音楽聞いただけで終わったって。

バックパッカー あちやー。あれつすか、「ただ今電話が混

みあっております」ってやつ。

一家の父 そうなんです。あっけなく。

バックパッカー 旅行会社つすよね？ 皆そんなに電話するんすね、でも。

一家の父 ね、世界中からひとつの窓口に掛けてるのか、何なのか。

バックパッカー でも、せっかく苦勞してコイン集めたのに。

一家の父 いや、申し訳ない。

バックパッカー ああ、そういう意味じゃないつすよ。

ビジネスマン 上手より登場。

バックパッカー すぐにビジネスマンに気付く。

バックパッカー あ、どうでした？ 電話。

ビジネスマン うん、まだ状況がいまいち掴めないけど、バックパッカー やっぱ繋がらなかったんすか？

ビジネスマン いや、繋がったよ。(一家の父を見て) ああ、私は家だから。

バックパッカー ああ、なんだ。

ビジネスマン 私の予想も、中らずとあた雖も遠からず、つてとこだね。

バックパッカー え、予想って？

ビジネスマン 反政府運動。

一家の父 え？

バックパッカー え？

ビジネスマン デモとか、そういうことだと思う、きっと。

どうも国王が帰国するのが、今日だったらしい。

バックパッカー 国王って、例の、亡くなった王様の息子っすか？

ビジネスマン そう。普段はヨーロッパに住んでるから。

一家の父 あの、すいません。あの、それって、タイの話ですか？

ビジネスマン そうです。

バックパッカー てか、ええ？ ヨーロッパに住んでるんすか？

ビジネスマン あれ、知らない？ ずっとドイツにいるよ、

今の国王。

バックパッカー ええ？ 何ゆえにドイツ？

一家の父 あ、じゃあ、空港の設備に異常っていうのは、ビジネスマン ああ、恐らく航空会社の言い訳でしょう。それか、もしかしたら、彼らもまだよく分かってないのかもしれない。

一家の父　じゃ、もう旅行も無理でしようか？

ビジネスマン　さあ、まだネットでも大した情報はないみたいで、何とも。

一家の父　でも、やっぱり、成田に戻るのが無難ですよ？  
ビジネスマン　だから、まだ分からないから、どれくらいの騒ぎなのか。

一家の父　ああ。…でも、旅行会社にも連絡できないしな。

ビジネスマン　恐らく旅行会社の方にも、もう何らかの情報が入ってると思いますけど。あ、あと、保険は？

一家の父　入ってます。クレジットカードのと合わせて二つ。  
ビジネスマン　じゃあ、まあ、全額負担することはないでしょう。

バックパッカー　でも、どっちにしても、今は待つ以外ないっすね。

一家の父（ため息）  
ビジネスマン　まあ、待とう。待ってりゃ、いいんだから。  
バックパッカー　僕は大丈夫っす。慣れてるんで、待つのは。

#### 暗転

#### 二時間後

一家の父は床に仰向け寝ている。自分の鞆を枕代りにして天井を眺めている。

若い女は同じ位置で壁にもたれて座っている。眠っているようで、首が前後に揺れている。

ビジネスマンは壁にもたれて床に座り込み、本屋のカバーが巻かれた単行本を読んでいる。

バックパッカーはバックパックを背もたれにして、ゆったりと座っている。フードを目深に被り、お腹の上に置いた一眼レフカメラをしっかりと両手で抱えている。

航空会社従業員が、段ボールがいくつも積まれた台車を押して上手から下手に通り返る。ガタガタという大きな音がして、若い女が驚いて起き、ビジネスマンも台車を見る。一家の父も一拍遅れて起き上がる。バックパッカーはフードを下ろし、辺りの様子を窺う。

一家の母と息子 上手から登場。

一家の息子 あ、パパだ、パパ（一家の父の方に駆けていく）

一家の父 ああ、起きたの。

一家の母 うん。もう食べた？ サンドイッチ。

一家の父 サンドイッチ？

一家の母 え、（辺りを見回し、小声になる）あっちでは配ってただけど。

一家の息子 これこれ。（母親のバッグに手を入れようとする）

一家の父 あ、あるの？

一家の母 うん。パパと一緒にって、晴哉が。

一家の息子 ねえ、このサンドイッチ、パンなのにまずいんだよ。

一家の父 へえ、まずいの？

一家の息子 うん、粘土みたいな味すんの。

一家の父 なんだそれ。（一家の母に向かって）そんなにまずいの？



一家の母 いや、私はまだ食べてないから。この子はひと切れ齧って嫌だつて。あ、お水も貰ったけど、いる？

一家の父 うん、頂戴。

一家の父 一家の母からクリスタルガイザーのボトルを受け取り、キャップを開け、ゴクゴクと勢いよく飲む。

一家の母 そうだよね。喉も乾くよね。

一家の父 うん。あっちのウォータークーラーも水圧高すぎて飲みづらかったから。こう、プシャーって、すごい勢いで出てくんの。

一家の母 え、あの水、飲んだの？

一家の父 うん。

一家の母 トイレの横のウォータークーラー？

一家の父 え、うん。

一家の母 ええ？ お腹壊したらどうすんの？

一家の息子 ねえねえ。

一家の父 でも、みんな飲んでるよ。脱水になるよりいいでしょ。

一家の息子 ねえ、パパ、これなんでパンなのにまずいんだろう？

一家の息子 母親のカバンに手を入れ、サンドイッチが入ったプラスチック容器を引つ張り出そうとする。

一家の母 あ、もう、晴哉。

一家の父 あ、中でこぼれる（プラスチック容器をカバンから取り出す）出しちゃった方が早いよ。

一家の母　でも、

バックパッカーは一家の様子に気付き、立ち上がって歩み寄る。

一家の息子は父親が出したサンドウィッチを床に置き、父親の飲んでいた水のボトルと一緒に並べている。

バックパッカー　あの、すみません。

ビジネスマンも最初は横目に一家の様子を窺っていたが、バックパッカーが声を掛けたのをきっかけに、顔を向けて直視する。

一家の母　あ、はい。

バックパッカー　あの、売店って、もう開いてるんすか？

一家の母　ああ、これですか？

一家の息子、母親のカバンから残りの二人分のサンドイッチも出そうとしている。

バックパッカー　もう、腹が限界で。

一家の母　いや、実はこれは、向こうで貰ったもので…。

バックパッカー　え、あっちすか？

一家の母　いや、でも、多分もう向こうには無くて。

バックパッカー　え？　ないんすか？

一家の母　あ、でも、多分これから配られるんだと思う。サンドイッチの入った段ボール置いてあったから。

バックパッカー　あ！　ひよっとして、さっきのあれっすかね？　さっき荷物運んできた。

ビジネスマン ああ！

バックパッカー (ビジネスマンに向かって下手を指して)  
あっち行きましたよね。

ビジネスマン じゃあ、到着ゲートで配るのか。

バックパッカー 早く行かないと。

ビジネスマン もう遅いかもしれない。

ビジネスマン 革の鞆を持って下手に退場。

一家の息子はサンドイッチを父親、母親、自分の前にそれぞれ置いていく。

一家の息子 パパ、ママ、どうぞ。

一家の母 ああ、はいはい。

バックパッカー あ、あの、すいませんけど、僕の荷物、見てもらえますか？

一家の母 え、でも貴重品は、

バックパッカー いや、大丈夫です。(肩に掛かったカメラを見せて) これくらいなんで、貴重な物は。

一家の息子 もう、ママ、ママ、聞いている？

一家の父 (息子に向かって) パパが味見するから待ってな。

バックパッカー カメラを肩にかけたまま下手に退場。

一家の母 ああ、気まずかった。

一家の息子 うん、まずい、まずい。

一家の母 違うよ、まずいじゃなくて気まずい。別の言葉。

一家の息子 きまずい？ きまずいって何？

一家の父 まあ、仕方ないよ。それより、出てきちゃったん

だ、ベッド。

一家の母 うん。この人がじっとしてないから。私も言い聞かせる元氣、残ってなくて。

一家の父 でも晴哉もよく我慢して、お利口さんだよなあ。

一家の息子 うん。

一家の母 (あくびしながら) まあね。

一家の父 結局、寝れなかったの？

一家の息子 ねえねえ、きまずいって、まずいの友達？

一家の母 うん、枕元でちよっとウトウトしたくらい。ね、

これ、とりあえず食べよう。

一家の父 そうだな、晴哉は粘土味って言ってたけど。

一家の息子 そうだよ。プレイ・ドゥーと同じ味がすんの。あ、

パパもママもいただきましたますって言わないと、ダメだよ。

一家の母 ああ、はいはい。(手を合わせて) いただきます。

一家の父 (手を合わせて) いただきます。

一家の母 (サンドイッチをひと口齧って) う、

一家の父 (サンドイッチをひと口齧って) ああ。これは…

予想を超えてきた。

若い女 顔を上げ、一家の方を見る。

一家の母 何の味もしないね。きゆうりの食感が残ってるけど。

一家の父 うん、ハムにまったく味が無い。

一家の息子 ねえ、気まずい？ そのサンドイッチ。

一家の母と若い女、目が合う。

一家の父 だいいち、ハムをここまで薄くスライスするのが珍しい。

一家の父と母、小声で話しはじめる。息子だけは、通常の音量のまま話す。

一家の母 ね、あの人さつきからこっち見てるよ。

一家の父 え、何？

一家の母 シイ。わざわざ小さい声で言ってるのに。

一家の父 何？

一家の母 あの人に教えてあげた方がいいんじゃない？ サンドイッチのこと。ほら、そこに座ってる女の子。

一家の父 若い女の方に視線を送るが、若い女は既に顔を伏せている。

一家の父 寝てるんじゃない？

一家の母 でも、さつきこっち見てたもん。

一家の息子 ねえ、何話してるの？ 何？

一家の父 もう聞こえてるよ、この距離だよ？

一家の母 でも、日本語分らないのかもしれないし。

一家の父 え、あ、日本人じゃないの？

一家の息子 あ、分かった。パパもママも今気まずいんでしよう？

若い女 顔を上げて再び一家の方を見る。一家の父と母と目が合い、すぐに顔を伏せる。

一家の父 シイ、晴哉、シイ。

一家の母 いや、英語喋ってたから、さつき。

一家の息子 英語？ 僕も英語できるよ。Good morning, Mr.

Sam. ねえ、ママ、聞こてる？

一家の母 うん、そうだね。サム先生に教わってるんだよね。

一家の息子 This bicycle is blue. 36

一家の母 いや、可能性の話。

若い女が顔を上げる。一家の父と母、慌てて視線をそらす。

一家の息子 That bicycle is red. 37

一家の母 ねえ、パパーというの得意でしょう？ 教えてあげたら？

一家の父 人見知りなの知ってるでしょ。

一家の息子 Yellow car, blue car, green car, pink car  
あとは…えーつとorange car. 38

一家の母 でも、私はもつとダメだし。

一家の父 俺よりママの方が安心感あるよ、相手も。

一家の息子 ねえ、ママ、bicycleって何だったっけ？

一家の母 いや、でもだって。あ、そうだ。はるちゃん、英語でお話したい？

一家の父 おいおい、晴哉にやらせるつもり？

一家の母 だって、センスあるらしいのよ、この子。保育所でも先生に褒められてて。

一家の息子 そうだよ、英語上手なんだよ、僕。

一家の母 きっかけさえ掴めば、後はジェスチャーで伝えればいいから、ね。

一家の父 …それなら、俺が訊こうか？

一家の母 はるちゃん、あのお姉さんに「こんにちは」って、ほら、「こんにちは」は英語で？

一家の息子 Hello.

一家の母 上手。じゃあ、サンドイッチいりますかって言う？

一家の息子 うん！

一家の母 立ち上がり、息子を連れて若い女の傍へ行く。息子の耳元で囁く。

若い女は気配に気付き、顔を上げる。

一家の息子 Hello.

若い女 …Hello.

一家の息子 (母親に向かって、照れた様子で) ママ

一家の母 出来る、出来る。

一家の息子 Hello.

若い女 …Hello.

一家の息子 …That bicycle is red.

若い女 …。

一家の息子 This bicycle is blue.

一家の母 はるちゃん、違う。

一家の父 (妻と息子に背後から話しかける) ほら、晴哉が

喋れるつたつて、カーとかバイシクルの話なんだから。

若い女 …あの、私は大丈夫です。

一家の父 え？

一家の母 え？

若い女 お気遣いなく。

一家の母 ああ、ごめんなさい。日本の方でしたか。

若い女 いえ、日本人ではないですけど。

一家の母 え？ ああ、ああ…すいません。

一家の息子 ええ、日本人じゃないの？

一家の父 こら、晴哉こっちおいで。

一家の息子 父親の方にふり返る。父親は真顔で来るように言い、息子は従って父親の隣に座る。

一家の父はカバンからハンカチを取り出して手を拭き、息子の手も拭いてから、食べ残しのサンドイ

ツチの容器を開けてサンドイッチに細工し、息子に与える。息子ははじめ嫌そうに食べるが、ひと口齧つてからは黙々と食べる。

若い女 私、日本の大学に留学してますから。

一家の母 ああ、大学に留学。

若い女 はい。

一家の母 え？ 留学、ということは、どこか外国から日本に？

若い女 タイのバンコクです。

一家の母 ああ、そうですか。あ、じゃあ、ほんとに上手です  
すね、日本語。

若い女 ありがとうございます。

一家の母 てつきり、日本で生まれた人かと、その、雰囲気的に。

若い女 よく言われます。

一家の息子 ママ、ママ

一家の母 (父親と息子の方にふり返って) 何、はるちゃん。

一家の息子 パパのお蔭でサンドイッチがまあまあになったよ。

一家の母 (父親に向かって) どうやったの？

一家の父 ちよつとだけ味のバランスを変えた。

一家の母 ハムを抜いたの？

一家の父 いや、単純に二つに分けちゃった。

一家の母 ああ、その手があつたか。(若い女に向き直って)

どうも、すいません。あ、あのサンドイッチ、到着ゲートの方で配るみたいですよ。

若い女 はい。

アナウンス 皆様、サンドウィッチの軽食をご用意いたしました。到着ゲートにてお配りします。人数分の準備がございますので、お近くの方から順にお越しください。

Ladies and gentlemen, we prepared sandwiches for every passenger. Please come to the counter in the arriving gate. Thank you.

一家の母 一家の父 若い女 一旦黙り、アナウン



スに耳を傾ける。

一家の息子は、その間も父親が細工したサンドイッチを一生懸命食べている。

一家の父 ああ、言った。(アナウンスの終わりを待たずに)

一家の母 行かないんですか？

若い女 でも、欲しくないですから。

一家の母 え、なんで？

若い女 全然お腹減ってないんです。

一家の母 でも、あとどれくらい待たされるか分からないですよ？

若い女 大丈夫です。

一家の母 あ、お腹の調子が悪いんだったら、私ビオフィェルミン

一家の父 もう、ママ、余計なお世話だよ。

一家の母 (夫にふり返って) でも、

若い女 あの、ありがとうございます。

一家の母 あ、はい。

一家の母、立ち上がって夫と息子の方へ行く。一家の父と母 小声で話す。

一家の父 もう、根掘り葉掘り聞きすぎ。

一家の母 え、ほんと？ おばちゃんだった？

一家の父 うん。

一家の母 だって、心配だったから。

一家の父 そうだけど、

一家の父 若い女の方をチラッと見て、若い女が俯いているのを確認してから、一家の母に耳打ちする。

一家の母 ええ！

一家の父 らしい。だから今待たされてんの、俺ら。

一家の母 私もさつき聞いたんだけど（耳打ちする）

一家の父 ああ、へえ。

ビジネスマン 下手からクリスタルガイザーとサ  
ンドイッチを持って登場。

ビジネスマン （一家の母と一家の父の方に向かって歩きな  
がら）貰ってきました。

一家の母 並んでなかったんですか？

ビジネスマン いや、「ビジネスクラスなんだから、それぐら  
い優遇したらどうですか」って言ったら、すぐ出てきて。

一家の母 ああ。

ビジネスマン こっちだって、かなり我慢してますからね。

今だって、行儀の悪い人の多いこと。知らん振りして二回  
貰おうとする輩が結構いたよ。人数分しか無いって言っ  
てるのに。（若い女の方を見てから、一家の母と一家の父に）  
あれ、もうアナウンズ流れませんでした？

一家の母 はい。

ビジネスマン じゃ、あの人は？

一家の母 はい、私も訊きましたけど、いらぬみたいですよ。  
ビジネスマン いらぬ？

一家の母 お腹減ってないそうで、あの、

ビジネスマン でも、いつまで待つか分からないのに。

一家の母 はい、まあ、そうなんですけど、

ビジネスマン 早く行かないと無くなるかもしれないって、  
そう言いました？

一家の母 ああ、それは言わなかったかも。

ビジネスマン　じゃあ、いつでも貰えると思ってるかもしれない。

ビジネスマン　若い女に歩み寄る。

一家の母　（ビジネスマンの背後で）あ、でも、多分

\*一家の息子　（手を合わせて）ご馳走さまでした。

\*一家の母　あ、全部食べたの？

\*一家の父　そう、ペロリ。

\*一家の息子　ねえ、コアラのマーチは？　コアラのマーチ。

\*一家の母　ああ、約束だったからね。ちよつと待ってよ、  
（カバンに手を入れてコアラのマーチを探し出す）はい。

\*一家の息子　イエーイ。

一家の息子　コアラのマーチの封を開け、ひとつひとつコアラの絵柄を確認しながら食べはじめる。途中、父親と母親にもあげる。

\*ビジネスマン　あのちよつと、すいません。

若い女　顔を上げる。

\*ビジネスマン　あの、到着ゲートで水とサンドイッチ貰えますよ。

\*若い女　はい。

\*ビジネスマン　早く行かないと無くなりますけど。

\*若い女　大丈夫です。

\*ビジネスマン　え、ほんとに？　後で欲しくなっても、もうないかもしれないですよ。

若い女　…。

ビジネスマン いつまで待たされるか分からないのに。

若い女 …。

ビジネスマン 食べないと、こういう時こそ。

若い女 …。

ビジネスマン あ、じゃあ、もう、これ良かったら、どうぞ。

(紙袋を差し出す)

若い女 はい？

ビジネスマン これ食べるというですよ。今行っても待つから。

若い女 あの、大丈夫です。

ビジネスマン いやいや、そんなこと言わずに。

若い女 本当に。

ビジネスマン いや、ほんとに遠慮しないで。私ならまた貰えるから。

若い女 (リュックサックを背負って立ち上がりながら) あの、それなら自分で貰いに行きます。二個貰うのは良くないでしょう？

ビジネスマン え、ああ。

若い女 静かに立ち上がり、下手に退場。

ビジネスマン ショックを受けた様子で立ちすくんでいる。

ビジネスマン 何か変なこと言いましたかね？ 私。

一家の母 いやあ…。

一家の父 …多分、文化の違い…じゃないですか。

ビジネスマン え、どういうことですか？

一家の母 タイ人だそうです、あの人。

ビジネスマン ええ？ そうなんですか？

一家の母 私たちもびっくりして。

ビジネスマン うん、だって、日本人と何も変わらないから。

一家の母 先に言えたら良かったんですけど。

一家の父 ああ、気になったんですけど、伝えた方がいいですかね？ さっきのデモのこと。

ビジネスマン うん……。でも、どう伝えるべきか……。

一家の父 そうですよ。

ビジネスマン それにしても、かなり日本語が達者ですね、彼女。

一家の母 日本の大学に留学してると言っていました。

一家の父 いや、それでも、普通はあんなに喋れないよ。

ビジネスマン 物思いにふけている様子で一家の母と一家の父の近く、人ひとり分の空間を空けて、壁にもたれて座りこむ。

\*の会話の間、ビジネスマンは紙袋から中身を出し、水を開けて飲み、サンドウィッチの容器の蓋を開ける。

\*一家の母 ああ、そう。パパでもそう思うんだ。

\*一家の父 うん。俺は発音のせいで最後まで外国人って扱いを受けたからね。

\*一家の母 へえ、二年いても？

\*一家の父 いやいや、ネイティブと同じように話すには、二年なんて短いから。よっぽど語学のセンスがないと。

\*一家の母 ああ、それは前にも力説してたね。

\*一家の父 うん。みんな勘違いするんだけど、そんな簡単じゃないから。

ビジネスマン (サンドイッチを齧ってから) 何だこれ。

一家の父 ああ、そのハム、ペラペラでしょう。

ビジネスマン うん。これは、本物のハムですか？ かな

で削ったみたいだけど。

一家の父 はははは。そうなんですよ、普通、ハムをここま  
で薄くする方が難しいんですよ。

ビジネスマン (一家の父が笑いだしたことに驚いた様子で)  
そうですか。

一家の父 でも美味しくはならないけど、マシにする方法は  
ありますよ。

ビジネスマン え、今この場で？

一家の父 はい。

ビジネスマン へえ、やっぱり餅は餅屋ですね。

一家の父 え？

ビジネスマン 確か、パン屋さんなんでしょう？

一家の母 ああ、さつき、話ししてて。

一家の父 ああ、そう。そうです。パリスタイルのブルーラン  
ジェリーなんですよ。

一家の父 得意分野に話が及び、急に生き生きとし  
はじめる。ハンカチを出し、手を拭う。

一家の父 (一家の母のサンドイッチをひと切れ取る) パン  
自体は、そこまで悪くないですよ。焼いてからそこまで  
時間も経ってなさそうだし。

ビジネスマン いや、でもパンだけ食べるのは、

一家の父 まだこれからです。このサンドイッチ、片方のパ  
ンにバター、もう片方にマヨネーズが塗ってあるんです。

一家の母 そうそう。マヨネーズでバターの風味が消えちゃ  
ってる。

一家の父 だから、こうやって二つに分けて……具も移動さ  
せるんです。マヨネーズが塗ってある方のパンをレタスと  
ハム……こっちのバターを塗ってある方は、胡瓜と組み合

わせて。オープンサンドみたいにして……はい。(一家の母に二つに分けたサンドイッチをのひつつを渡し、もうひとつを自分の容器に入れる)

一家の母 ありがとう。(サンドイッチを食べる)

ビジネスマン 一家の父の見よう見まねで同じことをしながら話す。

ビジネスマン 胡瓜のサンドイッチですか？ オスカーワイルドでもあるまい……(ひと口齧る) ……ああ、知ってる味だ。

一家の父 はい。それなりでしょう。

ビジネスマン うん、意外に胡瓜だけで成立する。

一家の母 あと、ハムも食べやすいね。

一家の父 だろ。

一家の父、一家の母、ビジネスマン 残りのサンドイッチも、同じように組み合わせる。

食事中、少しの間、静かになる。

一家の息子 ねえ、ママ、おしっこ行きたい。

一家の母 え、コアラは？

一家の息子 もう食べた。

一家の母 え、全部食べたの？

一家の父 ああ、俺、連れていってくるよ。

一家の母 あ、いい？

一家の父 うん。ほら、行こう。

一家の父と息子、下手に退場。

一家の母 もう、大変で。

ビジネスマン うん：大変な事でしょうね、思う以上に。

一家の母 え、何ですか？

ビジネスマン いや、今の状況が。

一家の母 ああ、そうですね。

ビジネスマン あの、それじゃ、だからあんな態度だったと思います？

一家の母 …あ、もしかして、さっきのこと気になってます？  
ビジネスマン まあ、少しね。

一家の母 でも、私も話しかけた時、距離を感じましたよ。

ビジネスマン そうですか。

一家の母 なんか、一方的に喋ってる感じになっちゃって。

ビジネスマン ああ、そう、やっぱり。…でも、私の言い方もまづかったんでしょう？

一家の母 いや、それは、

ビジネスマン 女房にも言われますから。ひとの神経を逆撫でするような喋り方だって。

一家の母 ああ…。

ビジネスマン はい。

一家の母 …でも、分からないですから、ひとの考えてることとは。

ビジネスマン うん、そうですね。

一家の母 家族でも難しい時があるくらいだから。

ビジネスマン うん…。

#### 少しの間

ビジネスマン あの、ちょっと妙な質問ですけど、

一家の母 あ、はい、何ですか。

ビジネスマン 男親ってのは元々、母親みたいに子供を理解



できないものなんでしょうか？

一家の母 え？

ビジネスマン いや、あの、お子さんがいらつしやるから、一家の母 え…。どうだろう…。そうとも限らないんじゃないですか。うちの子は、パパ大好きだし。

ビジネスマン ああ、そうですか。

一家の母 あ…でも…

ビジネスマン でも？

一家の母 でも、母親だから分かる、つてことはありませんよ。

ビジネスマン それは、あの…お腹を痛めて生んだから？

一家の母 まあ、それも当然ありますし

ビジネスマン やっぱり生物学的な問題ですか。

一家の母 でも、あの…夜泣きの度に起きたのも、熱出した時に看病したのも私ですからね。

ビジネスマン ああ、そうか…そうですね。

一家の母 何て言うか、それだけ愛情を注いでますし、母親ってのは。

ビジネスマン ああ、コミットメントの問題ですね…。

一家の母 でも、仕方ないですよ。うちも、いつも子供の事で揉めますから。

ビジネスマン そうですか？

一家の息子 下手より登場。母親に駆け寄る。一家の父 続いて下手より登場。

一家の息子 ママー。

一家の母 おかえり。

一家の息子 噴水見てきたよー。

一家の母 噴水？ え、噴水あるの？

一家の父 いや、

一家の息子 うん、あっち。

一家の母 あ、前髪ビショビショじゃない。

一家の父 いや、ウォータークーラー試したいって言うから。

一家の母 ええ、晴哉にあの水飲ませたの？

一家の父 ううん。顔に当たって遊んでただけだよ。

一家の母 いや、絶対飲ませた。

一家の父 ほんとに飲ませてないです。

一家の息子 ねえ、ママも行こう、楽しいよ。

一家の母 ママいらないよ、そんなの。

一家の父 でも、向こう行ったら、外がちよつと明るくなつてたよ。

一家の母 え、もうそんな時間？

一家の父 うん、日が昇りはじめてる。いいんじゃない？ 気分転換に。座りっぱなしも体に毒だよ。

一家の息子 ね、ママ、噴水、噴水。

一家の母 もう。

一家の母 息子を連れて下手に退場。一家の父妻の座っていた場所に腰を下ろす。

一家の父 すいません。やけにテンションが高くて。

ビジネスマン ああ、別に構いませんけど。

少しの間

ビジネスマン それにしても、さっきのサンドイッチ、普段からああいうこと考えてるんですか？

一家の父 ああ、まあ、そうですね。職業病ですよ。

ビジネスマン ご家族でされてるんでしょう？

一家の父 そうです。僕と妻とで。

ビジネスマン 仲がいいんだな。

一家の父 いや、どうだか。

ビジネスマン 私には想像できませんね。女房と仕事するなんて。

一家の父 まあ、初めからそんなつもりじゃなかったんですけどね。元は弟子なんですよ。

ビジネスマン ああ、なるほど。

一家の父 今じゃ、どっちがどっちか。

ビジネスマン まあ、しつかりしてますからね、女性は。

一家の父 そうですね。

ビジネスマン …夫婦喧嘩はしませんか？

一家の父 いや、しますよ、しょっちゅう。

ビジネスマン ああ、そうだった。

一家の父 いや、今日のは数に入らないくらいで。

ビジネスマン へえ。

一家の父 仕事のことによく揉めるんですよ。ついこの間も、

ケーキのことで大喧嘩になって。

ビジネスマン へえ、大喧嘩。

一家の父 はい。タルトは季節のものを僕が作るんですよ。

これが結構神経使うんで、バースデーケーキの方は妻に任せて。

ビジネスマン へえ、バースデーケーキ。

一家の父 これが、なかなか売れるんですよ。結局、毎日誰かの誕生日なんですよね。

ビジネスマン それに単価が高そうだし、受注生産できるし、良さそうじゃないですか。

一家の父 いや、その通りなんですよ。生クリームと苺のシンプルなケーキが好まれるのに、店にとってもいい条件が揃う、有難い商品なんですよね。

ビジネスマン うん、いいじゃないですか。

一家の父 だから僕としては、同じ物を作り続けたいんですけど、妻はそこでオリジナリティを出したがるんですよね、自分の担当だから。

ビジネスマン ああ。

一家の父 妻はどうも、バースデーケーキに関しては、僕が妥協してるから任せてると思ってる節があるんですけど、そんなつもりはなくて。

ビジネスマン それで喧嘩。

一家の父 そうです。

ビジネスマン で、どうなんですか？ 実際は。

一家の父 え？

ビジネスマン いや、妥協じゃないとしたら、どういう理由なのかなと思って。

一家の父 いや…考えてみると、結局は妥協かもしれないですね…。きつと、そういう事が気に入らないんだろうな。

バックパッカー クリスタルガイザーとサンドイッチを手に持って下手より登場。

バックパッカー ゲットしました。

一家の父 結構待たされましたね。

バックパッカー (ビジネスマンに向かって) あ、s あっちでVIP待遇受けてませんでした？ ずりい。

ビジネスマン ああ。それより、そのサンドイッチ、食べるのにコツがいるよ。

バックパッカー そうなんすか？ みんな文句言いながら食べてましたけど。

一家の父 ああ、やっぱり。

バックパッカー 自分のバックパックの前を通り過

ぎ、ビジネスマンと一家の父の傍に腰を下ろす。

バックパッカー (サンドイッチの容器の蓋を開けながら)  
で、何すか? コツつて。

ビジネスマン 簡単だよ。まず、サンドイッチを半分に分けて……そう。それで…… (一家の父に) 胡瓜をどっちのパンに付けるんですか?

一家の父 まず、このマヨネーズでレタスがくっ付いているパンをハムと一緒にして、

バックパッカー はい、こんな感じっすか?

ビジネスマン そう。それで、もう片方のパンには胡瓜だけ載せる。

バックパッカー あ、オープンサンド風にするんすか?  
一家の父 そう。

バックパッカー ひと口でひと切れを食べる。そのまま喋りながら食べ続ける。

バックパッカー うん、フツ。

一家の父 食べるでしょ。

バックパッカー へえ、食べないくらいまずかつたんすか?

ビジネスマン いや、酷かったよ。

一家の父 まあ、ちよつとした事で変わるんで、こういうものは。

バックパッカー (つづきを食べながら) え、じゃあ、我慢して良かったっす。さっき歩きながら食べそうになったんで。

ビジネスマン この方はね、フレンチスタイルのパン屋さんです。

バックパッカー ああ、昔パリに住んでたんですよね? 奥

さんから聞きました。

一家の父 ああ、そうでしたか。

バックパッカー 長く居たんすか？

一家の父 いや、パリには一年だけです。

ビジネスマン でも、よく就職できましたね。

一家の父 いや、雇ってくれる店が見つかるまで丸一年かかりましたよ。

バックパッカー 就労ビザっすか？

一家の父 はい。でも、見習いだから、給料はとんでもなく安かったけど。

バックパッカー どうやって生活してたんすか？

一家の父 いや、普通に、貯金を切り崩して。だから帰国した時はすっからかんでしたけど。

ビジネスマン 私には出来ない種類の苦労だな。

バックパッカー そうっすか？ めっちゃ楽しそうじゃないっすか。

一家の父 …あの、お仕事は何をされてるんですか？

バックパッカー 僕はフォトグラファーっす。

一家の父 ああ、それでカメラ。

バックパッカー そうっす。

一家の父 何を撮るんですか？

バックパッカー うーん、難しい質問だなあ…。旅先で出会

った人とか景色とか、良いと思ったら何でも。

一家の父 へえ。

ビジネスマン それは雑誌か何かに載せるの？

バックパッカー あ、はい、時々は。

ビジネスマン 時々？

バックパッカー あ、はい…まあ、普段は、パスタ屋でバイトしてます。そこで貯金して旅行するのが、最近のスタイルで。

一家の父 ウエイターですか？

バックパッカー いや、キッチンっす。僕、かなり手際良いんすよ。毎日汗だくでパスタを茹でて、ソースもニンニクの下処理からやって。何種類も作るんすよ。

一家の父 へえ、何種類も出来るんだ。

ビジネスマン (一家の父に向かって) 凄いですか？

一家の父 (頷く)

バックパッカー そうっす。だから店長からも社員になれっ  
てずっと言われてて。

ビジネスマン 適性があるなら、本職にしても良さそうだけ  
ど。

バックパッカー いや、それは僕の中で負けなんすよ。

ビジネスマン 負けて、実際にそっちで生活してるのにな？

バックパッカー あの：いつも思うんすけど、金儲けしてな  
いと、世の中にフォトグラファーって認めてもらえないん  
すか？

ビジネスマン え？

一家の父 :まあ、それはそうかもしれない。

バックパッカー なんでっすか？

ビジネスマン パスタ屋はダメなんだ？

バックパッカー あ、はい。

ビジネスマン これまでに就職した事は？

バックパッカー そりゃ、もちろんありますよ。長いこと写  
真家のアシスタントをしてましたから。

ビジネスマン え、それはなんで辞めたの？

バックパッカー いや、その写真家が糞野郎だったんで。て

いうか、なんか面接みたいになってません？

ビジネスマン 糞野郎って、どんなの？

バックパッカー いや、まず、撮影の指示がめちゃくちゃな  
んすよ。「それ、除けろ」ってレンズ覗きながらボソボソ言

うんすけど、山ほどある機材のうち、どれのことを言ってるのか分からないと怒鳴ってきて。

一家の父 ああ：作業に集中してて、気が回らないんだろうな。

ビジネスマン まあ、確かに、怒鳴るのはもうアウトだからね。

バックパッカー そうなんすよ。で、自分は雑な癖に僕には喋り方まで注意してくるし、あと、誰が上手に座るとか、先にタクシーに乗るとか、そういう事にもやたらと細かくて。

ビジネスマン まあ、それは慣れれば何てことないけど。むしろ、優遇される側になってしまえば、楽だけだね。

バックパッカー でも、僕はそういうのが嫌で、その、暗黙の了解みたいなやつが。

ビジネスマン まあ、確かに海外で「空気を読め」ってのは通用しない。はつきり言わないと。

バックパッカー そう、だから僕は海外の方が楽なんすよ。みんな感情を表に出すし、読まなきゃならない空気なんてないし、窮屈じゃないっていうか。

一家の父 いや：それはちよつと違うんじゃない？  
バックパッカー え、なんすか？

一家の父 多分、どの国にも多かれ少なかれ堅苦しいルールはあるよ。

バックパッカー ええ？ そうっすか？ これまで色んなところ行きましたけど、そこに関しては日本と同じって感じたこと、ないっすよ。

一家の父 いや、一緒くたにしちゃダメだよ。  
バックパッカー どういう事っすか？

バックパッカー だから、国それぞれ、特有の窮屈さがあるんじゃないかな。



バックパッカー え、例えば、どんなつすか？

一家の父 うーん、例えばって言われると困るけど、フランスにいた時、日本とは違う重苦しい何かがあるのは、感覚的に分かったから。

バックパッカー そうっすか？

一家の父 うん。部外者には気付く事さえ難しいってだけで。バックパッカー …うーん。

ビジネスマン なるほど。…部外者は気付く事さえ難しい。

一家の父 いや、あくまで僕の考えですけどね。

同じ航空会社従業員が手に書類を持って下手より登場。ビジネスマンと一家の父を見つけ、近寄る。

航従 Mr. Noriyuki Nakagawa? 39

ビジネスマン あ、私だ。Yes.

航従 Could you come with me? We just started check-in for the alternative flights. 40

ビジネスマン Finally! Are you going to inform that to everyone? 41

航従 Not everyone yet. There will be two planes. First one will be for the elderlies and customers with children and the business class customers. 42  
ビジネスマン I see. (一家の父を指して) He is also applicable. He has a son. 43

航従 Ah…yes, (プリントされたリストを指で追う)

ビジネスマン 朗報ですよ。

一家の父 え、飛べるんですか？

ビジネスマン そう。

バックパッカー おおー、遂につすか！

ビジネスマン いや、でも、代わりの飛行機は二台に分かれるみたいで、ビジネスクラスと子供連れの客を先に案内するって。

バックパッカー え、じゃ、他の人はまだってことですか？  
ビジネスマン 多分。何も言ってなかったけど。

航従 (紙に視線を落としたまま) Mr. Osaki?

一家の父 ノー。川上、KaWaKaMi.

航従 Umm...Keisuke Kawakami? 4 4

一家の父 イエス。ザッツミー。

航従 O.K. Please come. 4 5

一家の父 (ビジネスマンに) 今行った方がいいですかね？  
ビジネスマン でないと、また待たされますよ。

一家の父 申し訳なさそうにバックパッカーを見る。

バックパッカー ああ、あの、僕のことはお気になさらず。

待つのは慣れてるんで。

ビジネスマン まあ、遅かれ早かれ皆呼ばれるから。(一家の父に) あ、パスポート持ってます？ 家族の分も全部。

一家の父 ああ、はい。

航空会社従業員とビジネスマン 上手に向かって歩

きはじめる。

一家の父 あの、すみません、

バックパッカー いいつす、いいつす。お気になさらず。

一家の父 いや、あの、ちよっと伝言お願いしたくて。

バックパッカー ああ、伝言。

一家の父 妻が戻ってきたら「ここで待ってて」って言うって  
もらえますか？

バックパッカー 了解つす。  
一家の父 すいません。

一家の父 ビジネスマンの後を追う。

バックパッカー しゅんとして少しの間じつとして  
いるが、急にバックパッカーに一眼レフカメラを仕舞  
い、代わりにオカリナを取り出して吹きます。  
誰もが聞き覚えはあるが、すぐに題名を思い出せな  
い物悲しい歌。途中で下手から声がする。

下手からの声 笛なんか拭いてんじゃねーよ。

バックパッカー ……すいません。

バックパッカー オカリナをバックパッカーに仕舞う。

若い女が下手より登場。サンドウィッチの容器とク  
リスタルガイザーのボトルを持っているが、他の人  
物と違ってサンドウィッチを既に食べ終わってい  
るため、容器を縦に持っている。辺りを見渡して「あ  
れ？」という顔をし、ひとり残っているバックパッ  
カーを見る。

バックパッカーは視線に気付き、若い女を見上げる。

バックパッカー あれ、今から食べるの？ それ。(若い女の  
サンドウィッチの容器を指さす)

若い女 いえ、

バックパッカー なんか、そのサンドイッチ、相当まずいら  
しいよ。あっちでも言っただけだった？

若い女 あ、はい。

バックパッカー (容器をじつと見て) あ、もしや、もう食  
い終わってんの、それ？

若い女 ああ、…はい。

バックパッカー え、よっぽど腹減ってたんだね…。

若い女 あの、ここにいた人達は？

バックパッカー なんか、飛行機の手続きに行つたよ。

若い女 そうですか。

若い女 元いた場所に座る。膝を抱えて小さくなる  
ことで人を寄せ付けない雰囲気を出す動作の途中  
に、バックパッカーが続いて話しかける。

バックパッカー あれ？ あんまり待つ気にならない人？

若い女 え？

バックパッカー いや、反応薄いなどと思って。今、飛行機つ  
て言ったんだよ、俺。

若い女 ああ。

バックパッカー あ、ひよつとして、同類？

若い女 え？

バックパッカー いや、バックパッカーなの？ 荷物少ない  
から分かんなかったけど。

若い女 あ、いえ、バックパッカーじゃありません。

バックパッカー ああ、そつか。

#### 少しの間

若い女 家に帰るんです。

バックパッカー あ、タイに住んでるの？

若い女 はい。

バックパッカー 生まれもそつち？

若い女 はい。

バックパッカー ああ、そつか。それでさつき…

若い女 はい。

バックパッカー じゃあ、早く帰りたいよね。家族も待つて  
るだろうし。

若い女 …。

バックパッカー …ああ、ごめん、日本語でバンバン喋って。

多分、聞き取れるけど、返し方分かんないんだよね。俺も  
英語でそういう時あるから。分かる分かる。

若い女 いえ、そんな苦手意識は特にはないです。

バックパッカー ああ：ほんと、上手。

若い女 はい。

バックパッカー なら、もっと喋ればいいのに。外国人なの  
に日本語喋れるってだけで、リスペクトされるのに。てか  
俺だったら、ぜったい無駄に人に話掛けるけどなあ。

若い女 …。

#### 少しの間

バックパッカー あ、あのさ、ああ、これ言っつていいのかな

あ：でも、着いてから知る受けるよりマシだと思っうから、  
言うんだけど…今、俺ら待たされてるのって、バンコクで  
あつたデモか何かの影響らしい。

若い女 ああ。

バックパッカー え？ 何？ これでも動じないって、悟っ  
てんの？

若い女 さつき、話してるの聞こえたから。

バックパッカー ああ、そつか。

若い女 …でも、予想できましたけど。

バックパッカー え？ そうなの？ なんで？

若い女 それは分かりますよ。

少しの間

バックパッカー あのさ、こんな事、訊かない方がいいかも  
だけど…タイのにも社会的な堅苦しいルールってある  
の？ その、所謂、しがらみ、みたいなの。

若い女 …。

バックパッカー いや、俺はさ、日本にそういうのを感じる  
んだけど、純粹に、タイにもあるのかなって。その、タイ  
の人なら分かって当然のルールみたいなの。

若い女 まあ、はい。

バックパッカー ああ、やっぱあるんだ。

若い女 でも、それを説明すると朝になりますよ。

バックパッカー ああ、へえ。

若い女 はい。

ほんの少しの間

バックパッカー …あ、てか、外はもう朝らしいよ。(若い女  
の顔を窺いながら) …さすがに昼までにはここ出たいよ  
ね。

若い女 …。

バックパッカー あ…やっぱ訊いちやダメだった？ さっき  
の質問。

若い女 いや…あの、そうではなくて…家に帰りたくないか  
ら。

バックパッカー え、なんで？

若い女 (一度俯いてから顔を上げて)私、今日が誕生日で、  
バックパッカー え？ じゃあ、おめでとう、じゃない。

若い女 でも帰っても、絶対、誕生日どころじゃない。

バックパッカー え？ 家族と仲悪いの？

若い女 そうでは、ないですけど。

バックパッカー まあ、だよ。じゃなきゃ、誕生日に帰省

しようと思わないよね。なんだ、大丈夫じゃない。

若い女 でも、親と意見が違うから。

バックパッカー 意見？

若い女 はい。

バックパッカー 意見か。

若い女 はい。

バックパッカー 何の意見？

若い女 政治に関する意見です。

バックパッカー てか、違つてて普通なんじゃないの、意見なんて。

若い女 …。

バックパッカー 今日だけはそんな事、気にしなきゃいいん

じゃない？ 誕生日なんだから。パーっと、

若い女 それは無理です。

バックパッカー 無理なんだ？

若い女 無理。

バックパッカー あ、ああ。そうなの。

若い女 はい。

バックパッカー …まあ、親とは色々あるよね。俺も難しい時期あつたし、分かるわ。

若い女 え？

バックパッカー うん。

若い女 …

バックパッカー 何？

下手から一家の息子が駆けてくる。キョロキョロ辺

りを見回している。

一家の息子 パパ、パパ。

バックパッカーと若い女 一家の息子に気付いて、  
視線を送る。

下手から一家の母が走って登場。

一家の母 もう、晴哉。勝手に行かないの。

一家の息子 パパは？

一家の母 あれ？

バックパッカー あ、飛行機の手続きに行ってますよ。なん  
か、スタッフの人が迎えに来て。

一家の母 え、そうなんですか？

バックパッカー あ、そうだ。伝言頼まれてたんすよ。なん  
か、子連れの人は優先されるらしくて。

一家の母 え、てことはつまり、ここから出られるって事、  
よね？

バックパッカー はい。

一家の母 (安堵のため息をついて) やつとですね。良かった。  
た。

バックパッカー いやあ、僕はまだいつになるか分からない  
んすよね。

一家の母 え？ なんですか？

バックパッカー なんか、代わりの飛行機、二台になるみた  
いで。一台目は案内始まったみたいっす。

一家の母 え、そうなんですか？ (心配そうな顔をする)

バックパッカー いや、大丈夫っすよ。僕、旅慣れてますか  
ら。

一家の母 ああ…。(一家の息子に向かって)はるちゃん、良



かったね。もうすぐ飛行機乗れるよ。

一家の息子 えー、もう一回パパと鳥さん見たい。

一家の母 ええ？ 何それ。喜んでよ。(バックパッカーに向かつて) さつき滑走路に珍しい鳥がいたから。

一家の息子 黒い鳥さん。目が赤くて、くちばしが黄色いの。  
尻尾も長いんだ。

一家の母 そんなに長くないよ。

バックパッカー あ、それって、鳴き声がでかいヤツでしょ  
う？ めっちゃうるさいヤツ。

一家の母 いや、硝子越しだったから鳴き声までは分からない  
いけど。

バックパッカー 多分それ、香港とかにもいる種類つすよ。  
朝そいつに叩き起こされるんすよ。

一家の母 ああ、なんだ。よくいる種類なんですか。  
バックパッカー 多分。

一家の母 (息子に向かつて) 鳥さんまた見つかるって。  
一家の息子 ええ、ほんと!!

一家の母 (若い女が持っているサンドウィッチの容器見て)  
あ、サンドイッチ貰ったんですね。

若い女 はい。

一家の母 なんとか食べられました？  
若い女 あ、はい。

バックパッカー あ、知ってます？ 今話してて判明したん  
すけど、この子、日本人かと思いきや、タイ人なんすよ。

日本語めっちゃ上手くないっすか？  
一家の母 あ、私もさつき聞いて。

バックパッカー ああ、なんだ。じゃあ、今日誕生日ってこ  
とは聞きました？

若い女 バックパッカーの発言に表情が曇る。

一家の息子 え、誕生日？

一家の母 あ、そうなんですか。お姉ちゃんのお誕生日だつて。

バックパッカー そうつすよ。(歌い始める) ハッピーバース

デー トウ ユー。ハッピーバースデー トウ ユー…

若い女 あの、恥ずかしい。(ますます表情が曇る)

バックパッカー (若い女の表情を見て、歌うのを止める)

あ、いや、何か一個でも楽しい事があった方がいいだろう  
と思つて…。

一家の息子 え、歌わないの？ Happy birthday to あ、マ

マも歌わなきゃダメ。ママも歌うの。

一家の母 ええ？

一家の息子 歌おう。

一家の母 もう、

一家の息子 いくよ。いつせーの、

一家の母 ハッピーバースデー トウ ユー…

一家の母と息子、声を合わせて歌う。バックパッカー  
バックパッカーから急いでオカリナを取り出し合  
わせて演奏する。

一家の息子 空想上のケーキを若い女の前に差し出  
す。若い女 少し躊躇いつつ、空想上の蠟燭を吹き消  
す。一家の息子 拍手。一家の母も一緒に拍手。バッ  
クパッカーは演奏後に拍手に加わる。四人がにこや  
かになったところで、下手から声がする。

下手からの声 だから、うるせえつつの。

バックパッカー (下手に向かって) イチイチうつせえわ。

一家の息子 うつせえ。

一家の母 ころ。

一同微笑む。

一家の息子は上機嫌で若い女に話しかけ、若い女はその相手をする。

上手より一家の父が下手より登場。

一家の父 晴哉、威勢がいいな。

一家の息子 あ、パパ。

一家の母 手続き、済んだ？

一家の父 うん。昼前には着くだろうって。

一家の母 あ、じゃあ、行くことにしたんだ。

一家の父 なんか、嬉しそうじゃない。

一家の母 でも大丈夫なの？ (若い女を横目に一瞬見てから) その、向こうは？

一家の父 多分。今航空会社の人に訊いてもらってるよ、ほら、あの人も一緒だったから。

一家の母 ああ、あの、ビジネスクラスの人？

一家の父 そう。

ビジネススマン 上手より登場。他の人物はビジネスマンが傍に来るまで気付かない。

一家の父 (バックパッカーに向かって) なんか、みんな集まって、どうしたの？

バックパッカー 今の今まで誕生日祝ってたんすよ。

一家の父 え、誕生日なの？

バックパッカー いや、僕じゃないっすよ。

ビジネススマン もう心配する事は無さそうですよ。

一家の父 あ、教えてくれました？

ビジネスマン うん。あからさまに嫌がられたけど。  
バックパッカー 何すか？ やっぱデモすか？  
ビジネスマン いや、あ、(若い女を横目に見て) でも…

若い女 視線に気付き、頷く。

ビジネスマン …いや、どうも滑走路に人が入り込んだか、  
入り込もうとしたか、そういう事らしい。

一家の母 え、じゃあ、イタズラ？

ビジネスマン いや、抗議でしょう。

一家の母 ああ。(若い女を横目に見る)

ビジネスマン 結局、騒ぎ自体よりも安全確認に時間が掛か  
ったみたいだね。

バックパッカー え、じゃあ、ほんとにあんなデカイ空港が  
止まったってことっすか？

ビジネスマン うん。

バックパッカー ひえー。

ビジネスマン でも、もう再開したらしいから、まあ後は順  
番待ちだね。同じように待たされてる飛行機の。

一家の父 でも、それにしても、よく滑走路に忍び込めまし  
たね。

ビジネスマン まあ、きっと、命懸けでしょう。

少しの間

ビジネスマン (バックパッカーに向かって) で、誕生日な  
の？

バックパッカー いや、だから僕じゃないっすよ。この子で

す。(若い女を指す)

若い女 …。

一家の息子　ねえ、何歳になったの？

一家の母　（若い女に向かって）あの、答えなくていいですからね。

若い女　あ、いえ。（一家の息子に向かって）二十二歳だよ。

下記\*印の会話と★印の会話は同時進行で進む。

\*一家の息子　二十二歳。…ねえ、ママ、二十二歳って大人？

\*一家の母　うん、そうだね。

\*一家の息子　ええ、じゃあ、なんで大人の女の人なのに、オッパイないの？

\*一家の母　は、はるちゃん…。パパに鳥さんのこと教えてあげて。

\*一家の父　晴哉、（下手を指して）パパとあっち行くか？

\*一家の息子　ううん、ここにいる。

\*一家の父　（低めの声で）じゃあ、今は静かにしてなさい。

\*一家の息子　…うん。

★バックパッカー　さつき話してて知ったんすけど、この子、

日本語上手だから日本人だと思いきや、タイ人なんすよ。

★ビジネススマン　うん。そうらしいね。

★バックパッカー　え、なんだ。みんな知ってんすか？

ビジネススマン一家の会話の最中でも、はっきりと通る声で話し出す。

ビジネススマン　（若い女を直視して）あの、それなら、もし良かったら、私の席を使っても良いですよ。

若い女　え？

一家の父　え？

一家の母 え？

ビジネスマン いや、誕生日にこんなところに居るのは嫌だろうって。

バックパッカー ええ、席を譲るってことっすか？

ビジネスマン うん。

バックパッカー 本気で？

ビジネスマン ていうか、こんな事、冗談で言う？

バックパッカー ええ、かつけえ。

ビジネスマン いや、別にカッコイイとか、そういうんじゃないから。

一家の母 え、でも、お仕事は？

ビジネスマン まあ…何とかあります。

一家の父 ええ…。

バックパッカー いやあ、すいません。ぶっちゃけた話、こんな事する人って思ってたかったっす。

ビジネスマン いや、別に普段からこんな事してる訳じゃないよ。

いよ。

若い女 あの…大丈夫です。

バックパッカー え？ いらないうってこと？

一家の母 ええ？ なんで？

一家の父 うん、甘えてもいいと思うけど。

若い女 いや…(俯く)

一家の父 でも、家族は待ってるんじゃない？

バックパッカー あの、それは…色々と事情があるみたいっすよ。

若い女 (顔を上げて) 可哀想だっつて、思われたくないです。

一家の父 いや、そういう事じゃ、

ビジネスマン でも、離れて暮らす子供が帰ってくるのに、

親が楽しみにしてないはずがないと思うけどね。

若い女 (口を開くが、言葉が出ない)…。

アナウンスのピンポン。ピンポンという音が鳴る。

一家の母 あ、

アナウンス 皆様、大変長らくお待たせ致しました。無事、  
現地スワンナプーム国際空港の安全確認が取れました。間  
もなく搭乗手続きを開始します。

Ladies and gentlemen, we have confirmed the safety in  
Bangkok Suvarnabhumi International Airport. Check-in  
will begin shortly.

おわり

【英訳】

(3頁)

ビジネスマン すいません。 1

ビジネスマン ちよつと、時間いいですか？ Wi-Fi の設定  
の仕方が分からなくて。 2

航従 あ、それは、もう間もなく別の者が来ますので。 3

ビジネスマン 別の人に訊いたら、その人も同じ事言つてた  
けど。 4

航従 申し訳ございません。高齢のお客様とお子様連れのお  
客様を優先的にご案内しておりますので。 5

ビジネスマン じゃあ、誰ですか、別の者って？ 6

航従 え？ すいません。 7

ビジネスマン 誰が来てくれる予定なんですか？ 8

航従 …最善を尽くしております。すいません、失礼します。  
9

(4頁)

ビジネスマン すいません。あの、10

(6頁)

ビジネスマン あの、何度もすいません 11

航従 申し訳ございません。今、手が離せなくて… 12

ビジネスマン いや、違うんです。あの人たち、助けが必要  
なんじゃないですか？ ほら、あの子供、ずっと泣いてま  
すけど。 13

(7頁)

航従 でも、それは…お手伝いできるかどうか…。 14

ビジネスマン 頼みますよ。子供の泣き声を聞いてて楽しい  
人なんていますか？ 15

航従 お子さん、休ませてあげますか？ 疲れてるみたいで  
すから。 16

航従 随分、泣いてるから。 17

航従 泣く。泣いてる。 18

航従 ベッドをご準備しましょうか？ 休憩室がありますの  
で、ご希望なら、こちらで休ませてあげられますよ。 19  
航従 分かりました。ついてきてください。 20

(8頁)

ビジネスマン その休憩室は、誰でも使えるんですか？ 21  
航従 いや、残念ながら、既にご気分を悪くされたお客様で  
いっぱい。こちらの方には予備のベッドを使っていただ  
きます。 22

ビジネスマン ああ、もう。ビジネスラウンジだけかと思  
いや、全部使いものにならないのか。 23



航従 今回の状況はどなたにとっても大変なものだと思います。  
どうか、ご理解ください。 24  
ビジネスマン その部屋は近いんですか？ 25  
航従 すぐ、その角を曲がった先です。元々、この空港はそ  
んなに広くないですから。 26

(9頁)

航従 ちょっと、すみません。もしかして、あちらで写真を  
撮ってましたか？(上手を指さす) 27  
航従 撮影されているのを見たような気がするんですが。 2  
8

バックパッカー ああ：多分。 29

航従 お控えください。 30

バックパッカー どうしてです？ 31

航従 禁止されています。 32

航従 はい。ご理解ありがとうございます。 33

(19頁)

米国人 すいません。この辺りにトイレってありますか？ 3  
4

若い女 (小さな声で下手を指して) 多分、一番近いのはあ  
ちちですよ。 35

(28頁)

一家の息子 この自転車は青い。 36

一家の息子 あの自転車は赤い。 37

(29頁)

一家の息子 黄色い車、青い車、緑の車、青い車、あとは…  
えーっとオレンジの車 38

(42頁)

航従 中川紀之様？ 39

航従 先程、代わりの飛行機のチェックインを開始しましたので、こちらにお越しただけですか？ 40

ビジネスマン 遂に！これから全員に伝えるんですか？

41

航従 いえ、それはまだです。二機に分かれてのご案内になり、まずビジネスクラスのお客様と高齢の方、お子様連れの方を優先します。 42

ビジネスマン ああ、じゃあ、(一家の父を指して)この人も該当しますね。息子がいますから。 43

航従 えーと…川上啓介様？ 44

航従 では、お越しく下さい。 45